

HOYOG

教区新報

発行所

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区加納町6丁目3番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)393-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

1994. 12. 86号

ご本尊相次いで寄付

一階ホールに福谷・藤田両氏

本願寺神戸別院改築・兵庫教区教化センター設立建設計事も約一年が過ぎ、長期間の基礎・地下工事も終え、十二月に入りいよいよ地上三階部分の工事まで進捗している。また、本堂内

陣の欄間や宮殿・須弥壇などの仏具についても京都の小堀仏具店へ搬入して約半年が過ぎ、新しい本堂へ生まれ変わるために着々と修復が進められている。先月、京都山科にある小

堀仏具店の工場を視察した時、修復中の仏具は、六十余年の間の煤を化成ソーダで洗い流し、金箔の光が再び輝きはじめていた。小堀の工場長さんは「金箔が厚いので比較的押しなおしをしないで済むように、材質も檜で非常に良いもので、後世に残るものとして恥ずかし

くはない仕事をさせて頂きまして、修復中の仏具は、六十余年の間の煤を化成ソーダで洗い流し、金箔の光が再び輝きはじめていた。小堀の工場長さんは「金箔が厚いので比較的押しなおしをしないで済むように、材質も檜で非常に良いもので、後世に残るものとして恥ずかし



目録を贈呈する福谷やすゑさん

には福谷さんから土基教務所長へ目録の贈呈が別院仮本堂にて行われた。勤行の後、目録が手渡され「寄付させて頂けることに感謝し、またうれしく思います」と話された。

続いて同月十六日にも藤田時男氏(神戸東組専念寺門徒・神戸別院総代)より研修道場内の身丈四尺のご本尊阿弥陀如来の木像寄付(五百万円)の申し出があった。藤田氏は「私たち憧れの別院が立派に建立され、一階の阿弥陀如来様を私が微力ではございますが寄付させていただきます。うれしく思います」と話された。

福谷さんは既に五十万円、藤田氏は二百万円の特別懇志を納められ、今回更にご本尊の指定寄付をいただいた。

また、今後では歴代仏婦委員長有志で本堂の外陣香炉の寄付を申し出て下さっている。各教化団体からは、仏婦連盟が一階ホール内の椅子や研修机、スカウトクラブが仏旗などを掲揚するポールと相次いで指定寄付の申し出をいただいている。



二足の草鞋の一足を脱いで数年。すべての製造産業が自動化、省力

化のかけ声の中、設備投資盛んなりし時、省力機器製造の技術屋として機械の完成を喜びながらも、客先工場に納入した後の作業員の配転、解雇を思うとき心の痛みを禁じ得なかつた。今また円高不況によりすべての製造産業は余剰人員を持つて余し、新卒者の未就職者は二十万余人になるとか◆戦後五十年、経済優先に突き進んできたツケが、国外からは経済摩擦、国内では(国外でも)環境破壊などによる形になって現れている◆現代の科学技術は我々人類に多くの利益をもたらした。しかしその反面、貪欲と憎悪と貧富の差を大きくした。こうした社会生活の中にあつて我々僧侶として如何にあるべきか◆アイシシュタインの「宇宙的宗教性の最も強くなっているのは仏教である。現代科学に欠けているものを埋め合わせてくれる宗教があるとすれば、それは仏教である」この言葉をよく味わいたいと思う。(小畑英樹)

「人生に二つの出会い」

若婦人の集いに270人

十一月五日、教区仏婦連盟主催の若婦人の集いが神戸市中央区の県民会館で開催された。この研修会は今年で七回目をむかえ、仏教婦人としての開法を深め、組・単位仏教婦人会の充実と次代を担う人材の育成を計り、若婦人がみ教えに遇える場とすることを開催主旨とし、テーマを「仏教婦人（若婦人）への願い」とした。

今年午後からの半日研

修での開催で、講師には森重一成師（安芸教区養専寺住職）をむかえ『豊かな人生について考える』と題して講演があった。また、讃歌指導として釋氏清子さん（阪神西組源光寺）と赤松君香さん（網干組政源寺）の指導で「合掌音頭」などの歌や踊りを練習した。講演では、「今、日本はいい世の中になった。この人生を楽しもうという方向性をもって生きている。そ



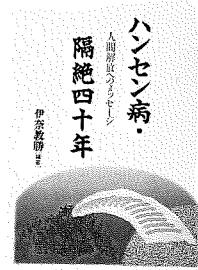
兵庫県民会館へ参集の若婦人

命終わる時、お蔭でいい人生だったといえる人生が豊かなのである。そのためは、三つの出会いが大切であり、人生これあるがゆえに生きていけるという教えとの出会い。様々な人間関係であなたに会えてよかつたという人との出会い。喜んでやるべき仕事との出会いが私を豊かにしてくれる」と述べ、浄土真宗の教えとして、他力や往生浄土や自力と他力の念仏の違いについて話され、充実した研修会となった。

人間解放のメッセージ

「ハンセン病・隔絶四十年」

伊奈教勝師



著者は長島愛生園真宗同朋会導師の伊奈教勝師。ハンセン病と診断され、四十年にわたり隔絶された生

半数の20組終える

ご消息披露・記念法座

蓮如上人五百回遠忌法要各組ご消息披露・記念法座は兵庫教区では七月九日から佐用組をトップに開催され、十一月三十日までに三十九組中二十組を終了し、約五か月で半数が終了した。また、兵庫教区に対する蓮如上人五百回遠忌総合計画推進懇志十五億円余りに対して、四億二千五百九十七万五百円（11月30日現在の進納をいただいている。十一月三十日までにご消息披露・記念法座を終えた組は次の通り。七月九日佐用組・法覚寺七月31日多紀組・市民会館

- | | |
|---|--|
| 8月24日 阪神西組・西福寺 | 12月3日 神戸西組・仏心寺 |
| 8月26日 城崎組・豊岡教堂 | 12月12日 阪神南組・照蓮寺 |
| 8月30日 網干組・徳栄寺 | 12月18日 神戸東組・照善寺 |
| 9月6日 赤穂北組・浄光寺 | 12月20日 揖電東組・浄蓮寺 |
| 10月8日 揖電西組・徳行寺 | 1月24日 赤穂南組・宝専寺 |
| 10月21日 水上西組・安養寺 | 2月1日 岡山南組・江並教堂 |
| 10月22日 播磨東組・播磨中組・多可組・加古川組・高砂組が5組合同で加古川の兵庫女子短期大学 | 2月4日 神崎組・神姫組・姫路東組・姫路南組・姫路中組・姫路西組が6組合同で姫路市民花北広場 |
| 10月24日 岡山北組・報恩寺 | 2月18日 北摂組・会場未定 |
| 11月1日 宍粟組・妙福寺 | 3月30日 阪神北組・浄福寺 |
| 11月7日 淡路組・萬行寺 | 開催未定の組は神戸中組・神戸湊組・新宮組・朝来組・出石組の5組となっている。 |
| 11月19日 神明組・金覚寺 | |
| 11月22日 水上東組・照蓮寺 | |
| 11月25日 養父組・永照寺 | |
| 11月26日 阪神東組・福円寺 | |

活を強いられてきた経験を、平等であるべき「いのち」の尊厳を犯す、差別、偏見からの解放を後世の人に伝えたいという思いから行動の軌跡をまとめたもの。今年七月の岡山で開催された組長・副組長・組相談員合同研修会で二日目の長島愛生園での講師で「本名を名告る意味」の講題で話されたこともある。第一章「ハンセン病の島からのメッセージ」第二章「講章・本名の名告り」第三章「叔父の本名の名告りを受けて」第四章「対談・人間解放ということ」の四章である。（定価千六百五十円）明石書店。お問い合わせは長島愛生園内伊奈教勝師まで ☎0869 2(5) 1105 岡山県邑久郡邑久町虫明六五三九

HODI誌

◆11月1日 六粟組蓮如上
人五百回遠忌法要ご消息披露を妙福寺で。特命布教使は近藤龍樹師(加古川組普光寺) ◆3日 仏教青年連盟研修会を六粟組西光寺で。西光寺青少年大会と教区仏青研修会との共催。約百人の青少年が集い、村上義円師の法話の後、ビンゴゲームや○×クイズなどをして楽しいひとときを過ごした。景品には北海道ふれあいの



青少年に法話する村上義円師

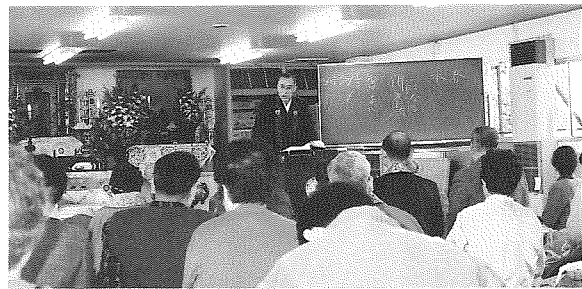
旅六泊七日が四人、キャン
プセット・カメラ・CDラ
ジカセ・マウンテンバイク
・コカコーラ一年分を各一
人にと魅力一杯のもので白
熱した景品争奪戦となった

◆出石組住職寺族同朋講
座・僧侶研修が西秀寺で。
講師は山崎一朗師(出石組
正福寺) ◆5日 若婦人の
集いを県民会館で ◆第一土
曜日教講座。講師は三宮義
信師(中央仏教学院院長)
テーマは「いのちのかがや
き」 ◆六粟組西光寺の本堂
修復落慶並びに住職継職法

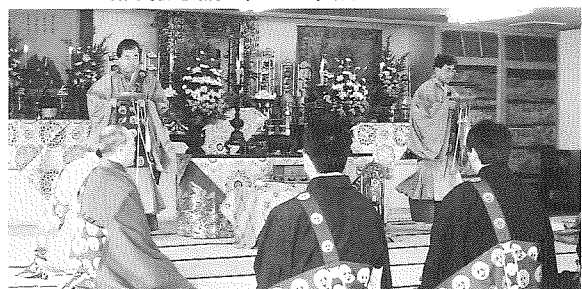
要に土基教務所長が本山か
らの祝辞伝達 ◆5日 6日
近畿ブロック仏青研修会
が和歌山の竣工したばかり
の鷲森別院で ◆6日 永代
経開闢法要を大谷本願寺で
6日 7日 部落解放県集
会が城崎で ◆7日 別院仏
婦学習会 ◆別院仏婦定例法
座。講師は津川肇師(城崎
組明元寺) ◆淡路組蓮如上
人五百回遠忌法要ご消息披
露を萬行寺で。特命布教使
は光森宣明師(北摂組正覚
寺) ◆8日 ビハラ兵庫
編集委員会を別院で ◆揖
西組と赤穂南組の建設懇志
未進納寺院へ財務委員が出
向 ◆9日 社会福祉推進協
議会兵庫支部評議員会並び
に研修会が別院で。講師は
玉川雄司師(ビハラ実践
活動研究会専門委員・京都
ボランティア協会事務局
長) テーマは「高齢者問題
と寺院福祉活動」 ◆10日
14日 やさしいから人なん
です パート7パネル展がJ
R神戸駅前地下デユオドー
ムで。今回は兵庫における
部落差別の実態をパネルに
して、道行く人々に部落差
別の撤廃をアピールした ◆
11日 布教団若手役員会を

仮本堂最後の報恩講

別院で ◆阪神北組住職寺族
同朋講座・僧侶研修が大林
寺で。講師は堀正昭師(揖
菟西組明正寺) ◆12日 江
並教堂報恩講。講師は増井
浄見師(赤穂北組浄蓮寺)
◆14日 神戸湊組住職寺族
同朋講座・僧侶研修が尊光
寺で。講師は堀正昭師(揖
菟西組明正寺) ◆14 16日
別院常例法座。講師は杉
本正典師(北摂組光澤寺)
◆16日 門徒推進員連絡協
議会幹事会を別院で ◆少年
連盟役員会を別院で ◆17日
愛生園・光明園報恩講 ◆
水上西組住職寺族同朋講
座・僧侶研修が正覚寺で。
講師は高崎長英師(北摂組
正光寺) ◆17日 18日 基
本法要求県交流会が塩田温
泉で ◆18日 阪神西組住職
寺族同朋講座・僧侶研修が
萬照寺で。講師は杉本正典
師(北摂組光澤寺) ◆都市
開教推進部会を別院で。テ
レホン法話促進パンフレッ
ト作成について ◆19日 神
明組蓮如上人五百回遠忌法
要ご消息披露を金覺寺で。
特命布教使は岩田義文師
(阪神南組西光寺) ◆21日
近畿教誨師研修会が難波
別院で ◆佐用組の建設懇志



別院報恩講 (上=布教 下=法要)



上朋義師(加古川組正願寺)
◆揖菟東組住職寺族同朋講
座・僧侶研修が源徳寺で。
講師は堀正昭師(揖菟西組
明正寺) ◆27日 29日 別
院報恩講。講師は藤山達郎
師(神崎組乘徳寺) 仮本堂
で二回目をむかえる報恩講。
昨年と同様に団参や教区内
のご法中の出勤依頼は見合
せ、職員が出動して、清風
会の楽入りで法要をお勤め
した。来年は新しい本堂で
◆建設推進三役会を別院で
◆30日 ビハラ兵庫編集
委員会を別院で。

魅力一杯の景品争奪

特命布教使は岩田義文師
(阪神南組西光寺) ◆21日
近畿教誨師研修会が難波
別院で ◆佐用組の建設懇志

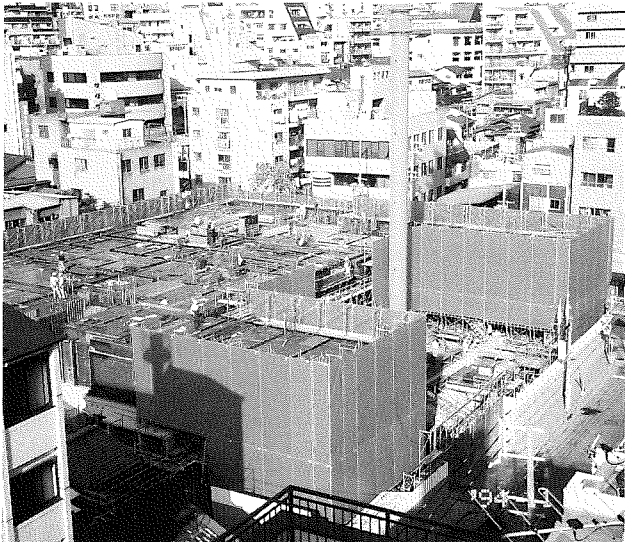
未進納寺院へ財務委員が出
向 ◆22日 水上東組蓮如上
人五百回遠忌法要ご消息披
露が照蓮寺で。特命布教使
は近藤龍樹師(加古川組普
光寺) ◆24日 別院報恩講
職員打合せ会 ◆25日 養父
組蓮如上人五百回遠忌法要
ご消息披露を永照寺で。特
命布教使は山崎一朗師(出
石組正福寺) ◆26日 阪神
東組蓮如上人五百回遠忌法
要ご消息披露を福円寺で。
特命布教使は松本龍圓師
(水上東組明光寺) ◆高砂
組住職寺族同朋講座・僧侶
研修が蓮教寺で。講師は井

委員会を別院で。

教区だより 12・1月

13日(火)	教区門徒総代会評議員会	1時半
14日(水)~16日(金)	別院常例法座 本多龍雄師	1時半
16日(金)	教区仏婦委員総会	10時半
17日(土)	研修指導部会	3時
18日(日)	神戸東組蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露	照善寺
19日(月)	建設推進常任委員会	10時半
	企画常任委員会	2時
	少年連盟役員会	3時

20日(火)	揖竄東組蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露	浄蓮寺
	青年僧侶の役員会	5時
22日(土)~23日(日)	スカウトクラブ仏教章取得講習会	神戸市立若者の家
24日(日)	京阪神都市開教対策本部会議	津村別院
26日(月)	年末組長会	2時
28日(水)	教務所・別院御用納め	
1月1日(日)	別院修正会	7時半
8日(日)	永代経開闢法要	大谷本廟
9日(月)	教務所・別院御用始め	
14日(土)~16日(月)	別院常例法座 青木敬介師	1時半



3階床部分の工事を進める現場 94,11,30撮影

本願寺神戸別院改築
兵庫教区教化センター設立

建設工事進捗状況

現況
 (本館棟Ⅱ地上二階部分)
 11/12日~16日
 ・墨出し
 ・柱、壁配筋
 16日
 ・総合定例打合せ
 16日~25日
 ・型枠建込み
 ・スラブ貼り
 24日
 ・定例打合せ
 25日~3日
 ・梁、スラブ配筋

予定
 12月の始めまでに地上二階の梁、スラブ配筋を終え、7日頃からコンクリート打設や設備配管をして、年末までに地上三階部分のコンクリート打設を終える予定。

建設志進納総額
 十三億七千七百六万六千七百四十九円
 (94年11月30日現在)

ビハラーり期生 参加しませんか

ビハラーり活動をより推進するために、実践活動者の養成を目的として、本山(社会部)ではビハラー実践活動研究会第九期生を募集します。

養成期間は二年間(平成七年四月~平成九年三月)。応募資格は本派の僧侶・寺族・門信徒で年齢が二十歳以上六十五歳未満の人で、出願手続きには、「応募の動機とビハラー活動への思い」と題したレポートなどを提出、教務所長の推薦。締切りは平成七年一月三十一日。お問い合わせは教務所(担当安井)まで。兵庫教区では、八期生を含めて三十五人が会員となっています。

寺本ウメノさん(てらもと・うめの)加古川組願生(寺前坊守)十一月十三日、八十六才で往生。葬儀は十一月十五日、願生寺で。「梅月院釋尼妙昭」。

藤村功宣師(ふじむら・こうせん)神戸湊組光明寺(衆徒)十一月十四日、八十六才で往生。葬儀は十一月十六日、奈良教区平群組浄照寺で。「浄教院釋功宣」。

すでに廢寺となった教樂寺住職。田中法劍教区会議長の実兄。本願寺派布教使。

小玉知登世さん(こだま・ちとせ)城崎組国正寺(前坊守)十一月二十日、八十六才で往生。葬儀は十一月二十二日、国正寺で。「妙寿院釋慈香」。

敬 弔

同朋運動の標語を募集

近畿六教区で構成している近畿同朋運動推進協議会では、毎年同朋運動啓発のために、同和教育振興会と共同で二種類の標語ポスターを作成、配布しています。

今年も標語を広く募集します。ふるってご応募ください。同朋運動の推進を目的とするもの

で未発表のもの。原則として二十字以内。締切りは一月三十一日(必着で、教務所近同推事務局へ郵送ください。採用作品には記念品を贈呈いたします。

なお、採用作品で語句の訂正をさせていただきます場合がありますのでご了承ください。